

その時、 何が起こったのか

関東大震災 102 年目にあたり 朝鮮人虐殺、加害の歴史を考える



関東大震災が起こって 102 年が過ぎました。

日本の軍隊、警察、デマを信じた人々によって多数の朝鮮人が殺されました。この事件を知る人々は少なくなり、思いを寄せる人々はなくなってきています。このまま忘れ去ってしまうにはあまりに大きく深刻な事件です。世代を越えて伝えていかなければなりません。（「朝鮮人殉難者追悼碑の建立にむけて」より）

現在、日本ではさまざまな国の人々が以前より数多く見られるようになりました。矯風会では、これらの方々と共に、より良く生きて行くために、過去の差別と偏見によって起こってしまった、この加害の歴史を深く知り、学びたいと思い、講演会と現場のフィールドワークを企画しました。共に参加し、学びあいましょう。

①講演会

2025 年 9 月 25 日（木）

午後 1:00 ~ 3:00

矯風会館 3 階集会室

（エレベーターはございません）

講師 西崎雅夫

定員 50 名

会費 800 円（税込、当日払い）

②フィールドワーク

2025 年 10 月 1 日（水）小雨決行

【荒天の場合は 10 月 9 日（木）】

午後 1:00 ~ 午後 4:00

JR 両国駅西口集合 / 両国荒川周辺

詳細は裏面をご覧ください

講師 西崎雅夫

定員 30 名・参加費 1000 円

（行事保険料・税込、当日払い）

◆申し込み締め切り 9 月 22 日

くわしくは裏面をご覧ください



ムクゲの花は韓国語で「愛する花」です。追悼碑の周りに最も愛される花が植えられています。



講師 西崎雅夫

1959 年東京都足立区生まれ。明治大学在学中「関東大震災時に虐殺された朝鮮人の遺骨を発掘し慰霊する会」発足に参加。1984 年より中学校教諭として勤務のかたわら、1993 年社会教育団体「グループほうせんか」設立、代表世話人。2010 年「一般社団法人ほうせんか」設立、理事。著書「証言集 関東大震災の直後 朝鮮人と日本人」ちくま文庫・「関東大震災朝鮮人虐殺の記録 東京地区別 1100 の証言」現代書館

関東大震災

～犠牲者ゆかりの地を歩く～

《墨田フィールドワーク》

2025年10月1日(水) 午後1:00～午後4:00 【小雨決行・荒天の場合は10月9日(木)】

講師 西崎雅夫

●コース 13:00 JR 両国駅西口集合

両国国技館前の旧御蔵橋地点→横網町公園（東京都慰霊堂・朝鮮人犠牲者追悼碑、復興記念館見学）→蔵前駅（都営浅草線）→八広駅（京成押上線）→追悼碑、「ほうせんかの家」→荒川土手旧四ッ木橋虐殺地点→河川敷の遺体仮埋葬地点→「ほうせんかの家」解散 16:00 頃

関東大震災の時、墨田区は大火に襲われました。逃げまどう人々の間に、「朝鮮人が放火した」「おそってくる」「井戸に毒を入れた」等の流言飛語が流れ、各地で多くの朝鮮人が虐殺されました。火災被害が甚大だった本所地区では、朝鮮人は焼き殺されました。避難経路の交通の要所であった荒川の四ッ木橋では多くの朝鮮人が、自警団や軍隊に殺されました。

とりわけ軍隊は土手に機関銃をすえて次々と朝鮮人を虐殺しました。そして殺された朝鮮人の死体は、荒川の河川敷に仮埋葬されました。

今回は「その時何があったのか」震災時の現場を自分の足で歩き、感じてほしくて、このコースを企画しました。



荒川土手・
1982年試掘



旧四ッ木橋



追悼碑（左）と
ほうせんかの家

◆申し込み方法

■申込先 kyofukai@titan.ocn.ne.jp まで

または下の QR コードをスマホで読み込むと文字を打ち込まずに直接各申込先に入れます

■申し込み締め切り 9月22日(月)

■下記の事項を記入してお申込ください。

- ① 9/25 講演会申し込み
- ② 10/1 フィールドワーク申し込み
- ③ 講演会・フィールドワーク両日申し込み
・お名前（ふりがな）・当日連絡がつく電話番号
・一般/会員の別・イベントを知ったきっかけ

①講演会



②フィールドワーク



③両日



《こちらの QR コードをお読みください》

矯風会館 〒169-0073 東京都新宿区百人町2-23-5

お問い合わせ先 TEL:03-3361-0934 (矯風会事務局)

公益財団法人 日本キリスト教婦人矯風会は、キリスト教精神に基づいて、女性の視点に立ち、すべての人々の人権と平和が守られるよう、困難な状況にある人たちに特に女性と子どもへの支援につとめ、社会全般の福祉の増進に寄与することをめざしています。

